

連携協定機関における研究の進捗状況

研究機関	研究内容
<p>国立大学法人大阪大学</p>	<p>1. DNAワクチンの開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 阪大の基礎研究を基にアンジェスが開発したDNAワクチンの治験（令和2年6月30日に大阪市大附属病院で開始、同年9月8日に大阪大学医学部附属病院で開始、同年12月8日に第2/3相臨床試験の接種開始（実施施設数：関西および関東エリアの8施設）） ・ ワクチンの免疫学的評価の実施、新規皮内投与デバイスを用いた医師主導治験の開始（令和2年11月25日に大阪大学医学部附属病院で開始） <p>2. 次世代ワクチンの研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ VLP産生の条件検討が終了し、免疫原性を評価する動物実験を開始した ・ 新型コロナウイルスの簡便で迅速な人工合成システムを樹立し、マウスに感染できる変異ウイルスを作製した ・ 次世代ワクチンエピトープについて患者血清の解析及び動物実験を実施中 ・ 安全な次世代ワクチンエピトープの候補を解明 ・ ワクチン評価系の構築 ・ 新型コロナウイルスに対する様々な抗体価の測定法の構築 ・ N末領域に対する中和抗体の解析 ・ 種々の変異株のスパイクタンパク質に対する抗体の測定法の構築
<p>公立大学法人大阪</p>	<p>大阪市立大学</p> <p>1. 抗体検査キットの研究開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の抗体検査事業（令和2年6月実施）において性能評価 ・ はびきの医療センターが実施したソフトバンクから大阪府に寄附があった抗体検査キットの性能評価への協力 <p>2. 新型コロナウイルス感染症を対象とした中和抗体価の迅速定量測定法の開発</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症に対するPCR検査と抗体検査を用いたパイロット研究</p> <p>4. DNAワクチンの治験実施医療機関（医学部附属病院）</p> <p>5. 新型コロナウイルスに対する粘膜ワクチンの感染防御効果を動物実験において検証</p> <p>6. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）患者由来iPS細胞の樹立及びその発症機序の解明に関する多施設共同研究</p> <p>7. 大阪府における新型コロナウイルスワクチンの有効性と安全性に関する前向きコホート研究</p>
<p>府立病院機構</p>	<p>大阪はびきの医療センター</p> <p>1. 治療薬の有効性、安全性の評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アクテムラの新型コロナウイルス感染症の重症化抑制 ・ イベルメクチンの抗新型コロナウイルスの排除効果 ・ 既存薬剤による感染予防効果 <p>2. ソフトバンクから大阪府に寄贈があった抗体検査キットの性能評価</p>
<p>市民病院機構</p>	<p>大阪市立総合医療センター</p> <p>1. 抗SARS-Cov-2 抗体検出イムノクロマト法の開発</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染症（COVID-19）を対象とした、PCR検査法と血清抗体価の比較による疫学調査</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症における肝・胆・膵臓器障害の病態と予後に関する調査</p> <p>4. COVID-19患者に対する重症化指標の探索研究</p> <p>5. 大阪におけるCOVID-19による重症呼吸不全治療の多施設後方視的疫学調査</p> <p>6. 機械学習を用いたCT画像によるCOVID診療戦略アルゴリズムの構築</p> <p>十三市民病院</p> <p>1. 新型コロナウイルス感染症を対象とした、PCR検査法と血清抗体価の比較による疫学調査</p> <p>2. 新型コロナウイルス感染患者検体を用いた抗体価測定</p> <p>3. 新型コロナウイルス感染症における肝・胆・膵臓器障害の病態と予後に関する臨床調査</p> <p>4. 新型コロナウイルス感染症の自動化・高速化遺伝子検査系の構築、検査体制の拡充及び大阪府における疫学研究</p>